

令和三年度 文学部 歴史学科

学校推薦型選抜 小論文②

〔注意〕

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答は必ず別紙の解答用紙の指定された箇所縦書きで記入すること。
- 4 解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入すること。
- 5 この冊子は問題（二頁）および解答用紙（一枚）からなっている。
- 6 この冊子のうち、落丁・乱丁及び印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 7 問題冊子は持ち帰ること。

【設問】

以下の文章で、著者は一国史の枠組みや一国史を超える固定的な地域の枠組みで歴史を認識することを批判している。これをふまえて、「地域史」の持つ可能性について、具体例をあげながら八〇〇字以内で論じなさい。なお、句読点やカッコ、数字はそれぞれ一字として数える。(配点 一〇〇点)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

村井章介『中世史研究の旅路』(校倉書房、二〇一四年、初出二〇一一年。なお引用にあたり一部の表記を改めたところがある。)